

高品質のいちごの通年で提供可能に 高度な生産管理で業務効率化

同社は、グループ農園が生産したいちごについて、生産から小売りまで一貫した6次化を実現しており、冬～春が収穫時期の冬春いちごと、夏～秋が収穫時期の夏秋イチゴを、ITを活用した高度な生産管理のもとで栽培している。自社流通でスピーディに届けることで、高品質で適正価格のいちごを、通年にわたり調達可能となった。農園では、水分・温度・湿度等の環境制御を自動で行うことで、重労働を少なくするとともに難しい作業を不要とした。高齢者・障害者を中心に雇用している。

● 所在地 千葉県南房総市白子2966-2
● 電話／FAX 047-029-5683／036-800-6712
● URL <http://www.diglee.jp/>
● 代表者 代表取締役 寺川 広貴

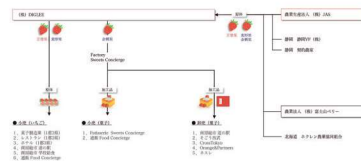
● 設立 2010年
● 資本金 2,000万円
● 従業員数 70人



生産性向上

高品質のいちごを通年で提供。耕作放棄地の活用で事業拡大

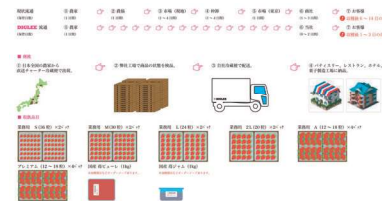
静岡県富士宮市にて農業生産法人を立上げ、標高900mの涼しい場所です夏秋いちごを栽培。冬春いちごの自社生産も千葉県南房総市で行うことにより「いちご」を通年で提供可能としている。「遊休施設」「耕作放棄地」を積極的に活用しており、使用放棄されたハウスを活用することにより、初期の設備投資を5分の1程度に抑えた。また、いちご栽培には大手メーカー様と共同開発した環境制御システムを導入して、温度・湿度・給液等の制御を自動化した栽培方法により、高品質を維持している。



グループ内完結型6次化のフロー

高度な生産管理で業務効率化し高品質を維持

自社物流でスピーディに商品を届けるため、高品質を維持している。また、中間流通・マージンを撤廃することで適正価格での商品提供が可能になった。更に、自社物流により顧客の声を直接聞くことで、顧客ニーズへ適切・迅速に対応している。また、グループ農園では生産管理システムを導入して、温度・湿度・給液等の環境制御を遠隔で管理することで、参入が相次ぐ大企業のいちご栽培事業で高度な生産管理を受託する新しいビジネスモデルを拡大中である。



中間流通を撤廃した流通フロー

自治体と連携し地域課題に対応し、地域活性化に取り組む

地元自治体と連携し、高齢化により増える「耕作放棄地」の活用を進める。また、温度・湿度・給液等の環境制御を自動化した栽培方法を高度化することで、働きやすい労働環境とするとともに、積極的に高齢者・障害者を採用することで地域の活性化と雇用に貢献した。また、地域企業と連携し地域商社を立上げ、地元金融機関の協力のもとで地域産品の域外販売・海外輸出を実現するとともに、道の駅の再生事業に組み、来訪者数を伸ばしている。



栽培ハウスの外観

サービス